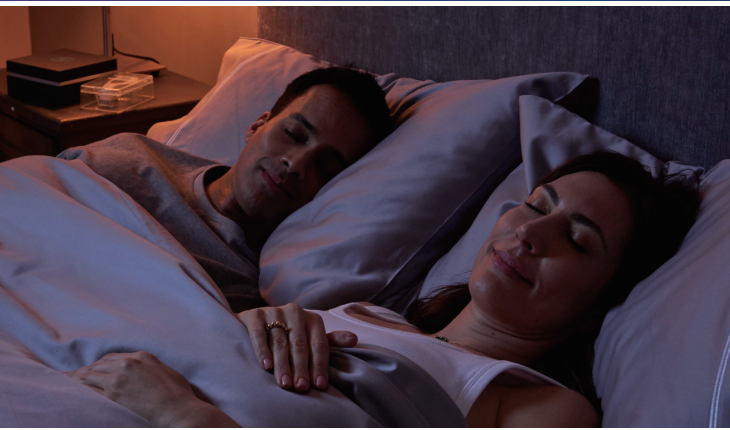




夜間に効果を得るために
日中に行える便利なトレーニング



98% の人がいびきをかき時間の短縮を報告しています⁴

82% の人が、ベッドパートナーのいびきの減少を報告しています⁴

70% の睡眠時無呼吸症患者が、睡眠時無呼吸の検出回数の減少を達成しています⁴



製造元:
Signifier Medical Technologies
<https://signifiermedical.com/>



販売元:
株式会社MAGnet

東京都文京区本郷 3-42-5 ポア本郷ビル 3 階
TEL: 03-5615-9907
<http://magnet-japan.com/>



【禁忌】 下記の場合は本装置を使用しないでください。

- ・意識がない、またははっきりしていない
- ・認知症を患っている
- ・妊娠している、または妊娠している可能性がある、または出産直後
- ・ペースメーカーまたは埋め込み電極を装着している
- ・心臓疾患がある
- ・口腔内に歯列矯正器具などの装身具がある
- ・口腔内に潰瘍がある、または最近歯科治療を受け口腔内に痛みがある
- ・AHI(無呼吸低呼吸指数) 15を超える閉塞性睡眠時無呼吸症候群を患っている、またはその可能性が疑われる

上記の状況における安全性と効果は証明されていません。



Snoozeal®
いびきを防止、
舌の筋肉刺激トレーニング^{1,2,4}



いびきと睡眠時無呼吸症について

質の高い睡眠は、健康と幸福にとって非常に大切です。睡眠により身体は休息し、元気を回復し、自らを修復することができます。

いびきは睡眠不足の最も一般的な原因です。約3人に1人の人がいびきをかくと言われており、その結果疲れやすい、集中力が続かない、ベッドパートナーの睡眠の質も悪くなる、といった経験をしています。

いびきは質の良い睡眠を奪うだけではありません。いびきは体内の酸素を奪い、しばしば、閉塞性睡眠時無呼吸症 (OSA: 気道の閉塞により、睡眠中に呼吸の一時的な停止が繰り返し起こる病気) の第一段階であることがあります。

いびきおよび OSA は、喉の筋肉が過度に緩み、舌が口内で後方へ落ち込み、気道が部分的に塞がれることによって起こります。音は、口と喉の柔らかい組織の振動によって生じます。



男性の 62%



女性の 45%

がいびきに悩まされています³

Snoozeal® のご紹介

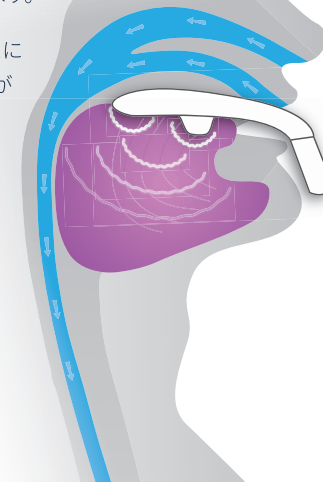
Snoozeal® は、単に症状を和らげる対症療法ではありません。いびきの根本原因である、筋肉の過度な緩みが起きないようにトレーニングを行う製品です。



Snoozeal® は、微小電流を使用して、口中と舌の筋肉の機能を刺激します。

口中と舌の筋肉を引き締めることにより舌根の落ち込みを防ぎ、気道が開いた状態に保たれます。

その結果、いびきが防止され、それに伴い、睡眠の質の改善も期待されます。^{1,2,4}



Snoozeal® の仕組み

1

Snoozeal® のマウスピースをコントロールユニットに接続し、口の中に入れます。これをワイヤレスリモートコントロールまたはスマートフォンアプリで操作します。

2

リモートコントロールユニットまたはスマートフォンアプリにより、コントロールユニットを経由してマウスピース内の電極を起動します。電気信号が舌の筋肉を刺激し、筋肉の緊張を高めます。

3

スマートフォンアプリにより、長期にわたるいびきの変化やSnoozeal® の使用状況を確認できます。

医学研究報告の概要

6週間の間、1日に1回、20分間Snoozeal® を使用することで、いびきと軽度の睡眠時無呼吸症を大幅に軽減し、睡眠の質が改善されるという医学報告があります。^{1,2,4}

1セッション
20分

1日に
1回

6
週間

1. E.Wessoleck et al. Intraoral electrical muscle stimulation in the treatment of snoring. Somnologie (Berl). 2018; 22(Suppl 2): 47-52.
2. A.Sama et al. Daytime Intraoral Neurostimulation with Snoozeal® for treatment of Snoring and Mild Sleep Apnea. CHEST Annual Meeting Notes, 2018
3. M. Ohayon et al. Snoring and breathing pauses during sleep: telephone interview survey of a United Kingdom population sample. 1997; BMJ314:860-863
4. いびきまたは軽度の睡眠時無呼吸症患者 50人の予測コホート調査、うち46人が試用を終了。いびきおよび呼吸の客観的なパラメータを、本装置の使用の前後に、連続した2度の夜間睡眠検査において記録。口内の舌刺激 (Snoozeal®) 装置を 6週間の間、1日に1度、20分間使用。